



柳沢中学校通信

朱雀の翼

西東京市立柳沢中学校

校長 浅野 周子

電話番号 042-463-5014

FAX番号 042-462-3104

令和7年3月25日第12号

令和6年度の教育活動が終了しました



今日で令和6年度の教育活動が終わりとなります。この1年間、大きな事故や怪我がなかったこと、生徒の皆さんと先生方にお礼を言います。

ありがとうございました。

宿泊行事、修学旅行、スキー学校や校外学習、職場体験、運動会、合唱コンクールなど、あたり前のことで、コロナで学校が休校になったり、行事ができなかったりした経験から学んだこと、あたり前のことに感謝する大切さを忘れないようにしています。先日の卒業式は、1年生も参列し、全校で挙行できたこと、あたたかい卒業式で3年生を送ることができて良かったです。「旅立ちの日に」の全員合唱は本当にすばらしかったです。

儀式に参列して、「厳か」という儀式の雰囲気を経験することは大切なことです。3年生の中には、涙がこぼれている人もいましたが、泣けるからいいとかどうだとかでなくて、柳沢中学校と別れて巣立っていく大きな節目を通して、別れたくないと思いながら、気持ちを切り替えて、次のステージに進んでまた成長していくことが大事なのです。

早く卒業したいと言っていた生徒が、卒業式の直近になったら、卒業したくないと言ったそうです。だからこそ、1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。今というのは、いま、しかないからです。

さて、みなさん、この1年間の自分の成長ぶりは、どうでしたか？

①よく頑張った②もう少し頑張れた③わからない

自分とは、一生付き合っていくので、頑張っている自分をほめてあげられる人になりましょう。

学校は、大人も生徒も互いに成長する場所であってほしいと思っています。

①縁があって、1年間一緒に過ごしたクラスも今日で解散です。クラスの1人として、自分の過ごし方はどうでしたか？係や委員会、掃除、人との関わり方、クラスのために何か貢献できましたか。自分も誰かに何かしてもらったこともあったでしょう。



そして、担任の先生との思い出、お世話になったこと、みんなに感謝の気持ちをもって解散してください。

1つ、お願いがあります。4月からの新しいクラスでは、心機一転、新しい気持ちでまた新しいメンバーと新しいクラスをつくっていきましょう。クラス替えの不安な気持ち、心配な気持ちがある人も多いでしょう。

中学校卒業後、どこの社会にいても苦手な人にはであってしまうかもしれません。相手を変えようとすると、自分が苦しくなります。柳沢中にいるうちに上手に人とかわる技を身に付けていきましょう。

②今日、皆さんに渡される通知表には、担任の先生からの所見が書かれています。どの先生も一人一人の生徒のことを本当によく見ていて、一人ひとりのいいところをほめて書いています。

③2週間後、1年生は、2年生に進級し、「柳沢中の大黒柱」柳沢中を支える大事な柱になります。3年生が引退すると、委員会や部活動などの中心になって学校を支える中堅学年になります。身長もぐんと大きくなって頼りがいのある人も増えますが、反抗期のピークに入る人もいます。しかし、学校は、公共の場所なので、反抗期の態度を出さないでください。自分のご機嫌は自分でつくってください。

2年生は、いよいよ最上級生、「柳沢中の顔」となります。3年生を見ればその学校の様子がわかると思われます。そして、1年生、2年生の手本となることの意味を理解してください。

3年生は、1、2年生にとって身近で憧れ、あんな風な3年生になりたいと目標となる存在です。2年生も新入生から尊敬される先輩になってください。新入生には、先輩のいいところを真似するように言うつもりです。

入学式は、体育館で全校生徒で実施の方向で準備をしています。健康管理をしっかりとってください。

春休み中に気持ちの整理をして、4月7日、新しい気持ちで皆さんに会えることを楽しみにしています。令和6年度、ありがとうございました。

就労移行障がい者 サポーター養成講座

学年末考査の最終日、就労移行支援事務所の方による講演会を開きました。来年度、市内の全校で実施予定の講演会ですが、本校は、先行実施いたしました。

誰でも、どの人も特性があります。中学生くらいだと、「障がい」という表現が独り歩きしそうですが、特性と捉えて、完璧な人はいませんから、お互いに助け合って、支えて一緒に居心地の良い生活、社会づくりを目指していけたらいいですね。

代表生徒が車椅子で段差を渡ったり、カーブしたりして車椅子体験をしました。「少しの段差も渡ることが難しい」と体験した生徒が感想を述べました。また、知的障害を理解するために買い物の時や日常生活で困ることについてグループで話し合いました。お金の計算が難しいとか避難訓練の時に逃げ遅れてしまうのではないかなど発表してくれました。

大きな声は、怒られていると認識してしまう方もいるようで、大きな声を避け、ゆっくり、簡潔に声をかけるとよいとアドバイスもいただきました。

「障がい（特性）のことを知る」→「困っている状況を想像する」→「実際に行動にうつす」ことが解決のポイントと教えてくれました。また、ヘルプカードについての説明もあり、障がい者理解が深まった1日となりました。

困っている人がいたら、支えてあげたいし、自分の助けてほしいときは、「HELP」をいえるといいですね。



道徳授業地区公開講座 テーマ「伝え方が9割」

「ノー」を「イエス」に変える技術について「株式会社ウゴカス」の方をお招きして講演会を実施しました。

「イエス」に変えるためには以下の7つの切り口を教えていただきました。①相手の好きなこと②認められたい欲（ほめる）③チームワーク化④あなた限定⑤選択の自由⑥嫌いなこと回避⑦感謝

そして、①思ったことをすぐ口にださない、②「相手の頭の中を想像する」③「相手のメリットと一致するをお願いをする」という『3つのステップ』が重要だと教えていただきました。

また、ワークシートを使い手伝ってほしい時にどのようにお願いすると相手が「イエス」という確率が上がるのかを考えました。

相手の好きなことを想像し、『手伝ってくれたら一緒に〇〇しよう』などと言うことで、ただ「手伝って」というより「イエス」と答える可能性が高まりそうですね。

ヒトは相手の心の中を見ることができないだけに、思ったことをすぐに口に出してトラブルになるよりも、7つの切り口と3つのステップを活用して温かいコミュニケーションを育んでほしいと思いました。



代表生徒が講師の先生に謝辞を述べました

金融教育

「学校では教えてくれないお金の勉強」第2弾を2、3年生で実施しました。自分のライフプランを考え、進路学習、卒業後の自分の生き方を少しイメージする時間がとれたらいいと思います。

国際理解教育

ヒッポファミリークラブの方に講演会をしていただきました。

